学校教育目標「夢と目標をもち、主体的に取り組む児童の育成」

令和８年度キーワード「自分から」

豊松小だより



神石高原町立豊松小学校　令和８年８月　　No.５

全校お楽しみ会 ～紙ヒコーキタワーへ GO！～



７月 14 日に「全校お楽しみ会」として、紙ヒコーキタワーに行きました。例年は春の遠足で行っていたのですが、今年の春はティアガルテンで飯盒炊飯をしたので、暑い時期ではあったのですが１学期末に行きました。

それにしても、紙ヒコーキタワーは、何度行っても楽しいところですね。大人も子供も、学年も関係なく、何時間でも楽しめます。今回もあっという間に時間がたち、まだまだ飛ばしたい！という気持ちを残しながら帰路につきました。

えっ、どこどこ？
あ！ほんまじゃ～！行きよる行きよる！もっと行け～！！！



恒例の「先生クイズ」をしながら、登っていきます。クイズを解きながら行くと、あっという間に頂上へ！
山道は思った以上に涼しくて歩きやすかったです。

今年のクラブはたくさんの方にお世話になります。

児童数が減っているということもあり、今年度から、３年生以上全員で一つのことをすることにしました。２時間ずつ年４回の計画です。なるべく多くの経験、本物の体験をさせたいと、１回目と２回目は講師をお招きしての活動をしました。３回目は、油木小学校のクラブに参加させてもらおうと計画中です。

昨年度まで、理科の授業をしてくださっていた山内先生に来ていただいて、「おもしろ実験」のオンパレード。身を乗り出して実演を見ています。





神石高原町の体育協会の方に来ていただき、「ボッチャ」と「ズンバ」の体験をさせていただきました。特に「ズンバ」は、先生たちも大汗をかきながら、子供たちとともにがんばりました！

第２回学校運営協議会



今回は、協議会委員の皆さんと職員で「あいさつ」についての熟議をしました。まずは、こどもたちのあいさつの現状…「できている」とは言いがたいですよね、というところから、「なぜできないのだろう」「どうすればできるようになるのだろう」「学校、保護者、地域が何をしていこうか」という流れで考えていきました。

「子どもたちが挨拶をしないのがいけない」と、子供たちのせいにするのではなく、子供たちの立場にたって、「しているつもりなのでは？」「大人の見本が少ないのでは？」「挨拶をする機会が少ないから？」といろいろな方向から考え、それぞれの立場でできることのアイディアを出し合っていきました。これらの案が「絵に描いた餅」にならないように、一つずつ取り組んで行きたいと思います。地域の皆様も、ご協力よろしくお願いいたします。

【学校は・・・】
○先生から進んで元気のよい挨拶をして見本を示す。
→すぐに頑張ります！
○挨拶の意義や良さについて指導し、挨拶週間の取組を行う。
→２学期に計画しました！マンネリ化しないように工夫していきま

【保護者は・・・】
○家庭内であいさつの習慣をつける。
→まずは「おはよう！」から笑顔でがんばってみませんか？
○保護者から進んで子供に挨拶をする。
→次回の学級 PTA で話題にしてみませんか？

【地域は・・・】
○あいさつ運動への協力を呼び掛ける
○子供たちが挨拶をする機会を増やす。（あいさつ運動のやり方を工夫する）
→ぜひ具体を考えてみてください。
○子供とかかわり、人間関係づくりをする。

8月24日(月)
9:25～平和学習

絵本「いわたくんちのおばあちゃん」に登場する岩田美穂さんにお越しいただきます。いっしょにお話を聞きませんか？どなたでもお越しください。



9月の主な行事予定

１（火）	始業式
２（水）	スクールカウンセラー来校
５（土）	科学研究作品展 （10:00～15:00 シルトピア図書館）
７（月）	振替（敬老会）休日
10（木）	豊サポ
11（金）	読み語り
12（土）	敬老会（10：40～出演予定）
15（火）	集合学習（５・６年町陸練習） 豊松小にて午前中
18（金）	社会見学
25（金）	町陸上記録会（５・６年）豊松小にて
29（火）	学校運営協議会

各たよりや子どもたちの活動の様子は、
豊松小学校ホームページでも紹介しています。
ぜひご覧ください。
https://www.jinsekigun.jp/school/toyosho/

豊松小学校セクハラ・体罰・いじめ相談窓口【豊松小学校 84-2011
古木千晶教頭・山本真二郎教諭・目崎杏奈養護教諭　★遠慮なく相談してください★